

- 「NICT図書街シンポジウム2008」開催のお知らせ

- 平成20年3月4日

独立行政法人情報通信研究機構(以下、「NICT」という。理事長:宮原 秀夫。)は3月10日(月)、学士会館本館において、「NICT図書街シンポジウム2008」を開催いたします。

本シンポジウムでは、ユニバーサルコミュニケーション社会\*1の実現を目指すNICTが、人的知的活動やコミュニケーションを支援する新しい方法を開発するために推進している「図書街プロジェクト\*2」に関して、そのコンセプトやプロジェクトの概略及び今年度のシステム開発の成果を発表するとともに、その社会的な意義を、文化、芸術、学術、産業の各界の皆様にご覧いただき論じて頂きます。

本シンポジウムは、新たな技術シーズを見出すための社会的活動として、情報通信分野に留まらない広い分野の皆様への情報発信を行うことを目的としています。情報技術の研究開発者、出版関係者、各種クリエイターや文化人など、ユニバーサルコミュニケーション社会の創造を担う皆様の多様な観点からのご興味が、新しい技術の着想を生み、社会的関心の広がりにつながるよう、多くの皆様方のご来場をお待ちしております。

## 記

- 日時: 平成20年3月10日(月) 14:00~17:30
- 場所: 学士会館本館 202講堂(東京都千代田区神田錦町3-28)
- 主催: 独立行政法人情報通信研究機構
- 協賛: 北海道大学知識メディアラボラトリー(VBL)  
慶應義塾大学SFC研究所  
京都大学学術情報メディアセンター
- 内容: プログラム及び詳細を別紙2に示します。
- 参加費: 無料
- 参加申込: 本シンポジウムは、事前登録制となっております。参加をご希望の方は、下記ホームページからのお申込みをお願いいたします。  
<http://es.isis.ne.jp/NICT/sympo2008/>  
申込み問い合わせ先:NICT図書街シンポジウム事務局(編集工学研究所内)

Tel:03-3568-2100

< 広報 問い合わせ先 >

総合企画部 広報室

栗原 則幸

Tel:042-327-6923

Fax:042-327-7587

< 本件に関する 問い合わせ先 >

知識創成コミュニケーション研究センター

知識処理グループ

木俣 豊、加藤 宗子

Tel:042-327-6852

## < 用語 解説 >

### \*1 ユニバーサルコミュニケーション社会

世界中の人達相互間で自由にコミュニケーションができるのみならず、人と機械、機械相互間においても自由にやりとりができる理想の社会のこと。

### \*2 図書街プロジェクト

編集工学研究所所長の松岡正剛氏によって提案された「知のプラットフォーム」となる書物都市「図書街」のコンセプトに基づき、NICTが平成17年にスタートした研究開発プロジェクトです。

慶應義塾大学SFC研究所、北海道大学知識メディアラボラトリー(VBL)、京都大学学術情報メディアセンター、のプロジェクトチーム参加により、人類の知的活動の資産である書籍がもつ情報を構造化し、さまざまに関係づけることを通して、人々の知識や想起を膨らませ、人々間のコミュニケーションに活用できるプラットフォームシステムを研究開発しています。

今年度は、開発システムのもつ情報空間と我々が存在する現実空間を結びつける情報ナビゲーションシステムとして、京都観光ナビゲータを応用開発しています。

(参考URL: <http://www2.nict.go.jp/x/x163/project3/index.html>)

---

「NICT図書街シンポジウム2008」リーフレット

2008年3月10日[月]  
学士会館 / 本館 202 講堂

NICT図書街シンポジウム2008  
—— 図書街プロジェクトの進境 ——

情報 / 地域 / 書物  
ナビゲーション

金子郁容  
慶應義塾大学 / 政策・メディア研究科委員長・教授

松岡正剛  
鎌倉工学研究所以長 / インス・鎌倉学校校長

高野明彦  
国立情報学研究所 / 遠隔情報学研究所長・教授

田中優子  
法政大学 / 社会学部・国際日本学  
インスティテュート(大学院)・教授

内藤廣  
建築家

猪子寿之  
チームラボ(株) / 代表取締役社長

堀主知ロバート  
(株)サイバードホールディングス  
代表取締役社長兼グループCEO

尾原和啓  
(株)リクルート / インターネットマーケティング局  
マーケティングGジェネラルマネージャー

田中讓  
北海道大学 / 知能メディアラボラトリー長・教授

土佐尚子  
京都大学 / 学術情報メディアセンター・特別教育研究教授

倉林修一  
慶應義塾大学 / 政策・メディア研究科助教

安西祐一郎  
慶應義塾塾長

松島裕一  
NICT理事

井澤一郎  
NICT執行役

松山隆司  
NICT知識創成コミュニケーション研究センター長

木俣豊  
NICT知識創成コミュニケーション研究センター  
知識基盤グループリーダー

NiCT 独立行政法人 情報通信研究機構  
National Institute of Information and Communications Technology

主催：独立行政法人情報通信研究機構  
協賛：北海道大学知能メディアラボラトリー(VBL)  
慶應義塾大学IFC研究所  
京大大学学術情報メディアセンター

# NICT図書街シンポジウム2008

図書街プロジェクトの進捗

主催：独立行政法人情報通信研究機構  
協賛：北海道大学知識メディアラボラトリー (VBL)  
慶應義塾大学SFC研究所  
京都大学学術情報メディアセンター  
企画・制作：編集工学研究所  
場所：学士会館／本館／202講堂

## Program

■開場 13:30 ■開演 14:00 ■総司会：金子郁容

### 第1部 ユニバーサルコミュニケーションと 図書街プロジェクト (進行：木俣豊)

- 14:00 開会の挨拶 ◆松島裕一
- 14:10 ユニバーサルコミュニケーション研究の現状と  
今後の展開 ◆松山隆司

### 第2部 図書街プロジェクトの成果

- 14:20 図書街プロジェクトの全体像とこれまでの成果 ◆金子郁容  
図書街を利用した京都観光ナビゲーション ◆金子郁容  
アクティブDBを応用したナビゲーション ◆倉林修一  
図書街全体システムと京都図書街空間との連動 ◆田中譲  
感性連想ナビゲーション ◆土佐尚子  
ゲストコメント ◆高野明彦
- 15:55 休憩 10分

### 第3部 図書街プロジェクトの社会的広がり

- 16:05 図書街プロジェクトへの期待  
◆安西祐一郎 ◆松岡正剛 ◆金子郁容  
図書街という情報編集空間が問いかけるもの  
リレートーク ◆松岡正剛 ◆田中優子 ◆内藤廣  
図書街につながった携帯観光ナビの可能性  
パネルディスカッション  
◆金子郁容 ◆頼主知ロバート ◆猪子寿之 ◆尾原和啓
- 17:25 閉会の挨拶 ◆井澤一朗
- 17:30 終了

## Access

■都営三田線、都営新宿線、東京メトロ半蔵門線  
「神保町」駅下車 A9 出口徒歩 1分



■東京都千代田区神田錦町 3-28 TEL: 03-3292-5936

## 開催趣旨

- ①独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) では、来るべきユビキタスネットワーク社会を支える情報通信技術の研究開発を、基礎から応用まで一貫した統合的な視点で行い、併せて情報通信分野の事業支援等を総合的に行っています。
- ②本シンポジウムでは、ユニバーサルコミュニケーション社会の実現を目指すNICTが、人の知的活動やコミュニケーションを支援する新しい方法を開発するために推進している「図書街プロジェクト」に関して、そのコンセプトやプロジェクトの概略及び今年度のシステム開発の成果を発表いたしますとともに、その社会的な意義を、文化、芸術、学術、産業の各界の皆様から論じて頂きます。
- ③本シンポジウムは、新たな技術シーズを見出すための社会的活動として、情報通信分野に留まらない広い分野の皆様への情報発信を行うことを目的としております。情報技術の研究開発者、出版関係者、各種クリエイターや文化人など、ユニバーサルコミュニケーション社会の創造を願う皆様の多様な観点からの興味が、新しい技術の着想を生み、社会的関心として広がりますよう、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

## 図書街で実現する知のプラットフォーム

④本はそれだけでひとつの世界を作っているとともに、他の本と、いろいろなテーマ・出来事・人とながらっています。人間の知的活動の蓄積である書籍の持つ情報の関連性に注目し、その情報をクラスター化して、三次元の「街」の中に配置したのが図書街です。図書街プロジェクトの目的は、その構造を活用して、他にないやり方でいろいろな形での情報獲得が効果的・効率的にできるプラットフォームを構築することです。図書街の書籍の配置の基本プランは、千夜千冊の著者である松岡正剛氏の構想を基にしています。このシンポジウムでは、図書街プロジェクトのこれまでの成果を説明し、今後、図書街に期待されることを多方面のゲストとともに考えて行きたいと思っております。  
(図書街プロジェクト・リーダー 金子郁容/慶應義塾大学教授)

## 図書街を利用した 京都観光ナビゲータの研究開発

- ⑤600万冊を収蔵することが想定され、本館が配置されている図書街は、1冊という本から解き放たれた様々な文脈が、利用可能なリソースとして豊富に埋め込まれている情報空間であるといえる。ここでは、直観的な可視化だけでなく、メトリックシステムが定義されており、書籍間・本細間・クラスター間の「距離」つまり類似性・関連性を計算できる。これらによって、文脈検索や連想検索を効果的に行うことができ、明示的でない関係の発見が可能となるのである。
- ⑥今年度は京都観光をテーマに設定し、図書街プロジェクトチームの各大学が研究している技術を活用して、観光前～観光中～観光後にかけて、PCや携帯電話から図書街を利用できるアプリケーション「京都観光ナビゲータ」を開発した。
- ⑦3次元可視化技術により、古今東西のあらゆる書籍が配置された図書街空間と、京都に関する書籍を集めた京都図書街空間が構成され、利用者は、観光の事前・事後に、この2つの仮想空間を行き来することによって、知を「体感」する。
- ⑧アクティブ・マルチ・データベース技術により、多様な情報が意味的に構造化された図書街の「情報空間」と「現実空間」が、意味と文脈を介して動的につながる。利用者が携帯電話から発信する位置情報や動的に変化する意図や関心を捉え、それらにもとづいた関連情報やナビゲーション情報がリアルタイムに提示される。
- ⑨カルチュラル・コンピューティング技術により、利用者は観光時の印象を特々わびといった感性的な言葉で表し検索を行い、京都に関連する書籍や京都の観光地について、連想をひろげている。
- ⑩利用者が観光地点の基礎情報とあわせて、図書街に配置された書籍と書籍を見ながら、さまざまな関連情報取得し、好みや関心に応じて事項を関連付けることで、観光を楽しみながら歴史や文化への理解を自然に深めていくことができるものとなっている。

## 参加方法とお問合せ

- 参加費無料
- 参加方法  
事前のお申込みが必要です。参加ご希望の方は下記のURLにアクセスの上、お申込み受付フォームよりお申込みください。なお、定員を超えた場合には参加をお断りする場合がございますことをご了承ください。  
お申込み：  
<http://es.isis.ne.jp/NICT/sympo2008/>
- お問合せ  
NICT図書街シンポジウム事務局(編集工学研究所内)  
TEL: 03-3568-2100  
E-mail: nict-sympo@eal.co.jp

リサイクルペーパーを使用しています。  
**NICT** 独立行政法人  
情報通信研究機構  
National Institute of Information and Communications Technology